

学校教育目標	明るく さわやかな子の育成
目指す学校像	みんな大好き芝原小学校～「子どもたちが毎日生き生きと登校し、好奇心をもって学習に取り組み、友達や教職員との温かな触れ合いの中で自分の居場所を実感できる学校」～

重点目標	1 基礎・基本の徹底と個性を生かす授業の推進 2 豊かな心と心身ともにたくましい子どもの育成 3 芝原小コミュニティ・スクールを中心に保護者・地域の願いを踏まえた学校経営と積極的な情報発信 4 児童が安全で安心して学べる教育環境の整備 5 教職員研修の充実
------	--

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

年度		学 校 自 己 評 価			年 度 評 価			学校運営協議会による評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日	令和 年 月 日
1	〈現況〉 ○全国学力・学習状況調査では、国語、算数ともに全国、県平均よりも下回っている状況である。 ○自分に合った学び方や学習の場を選んで学習することができる児童が育ってきている。 〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査の結果分析から、資料を基に理由をつけてまとめて書くことの問題では、全国、県平均よりも正答率が低く、無回答率が高い状況であり、自分の考えや思いを豊かに表現することに課題がある。	・基礎学力の定着及び学びの個別最適化に向けた情報端末の活用、授業改善 ・言語活動の充実を図り、自らの考えを豊かに表現できる授業の工夫	①情報端末を効果的に活用し、基礎学力の定着を図るとともに、個別最適化を目指した授業実践を積み、教職員で共有する。 ②全国及び市の学習状況調査の結果を基に、市教委による学力向上カウンセリング研修を受けることで、授業改善につなげ学力向上を図る。	①情報端末を活用した学習の個別最適化を目指した実践を教職員1人あたり年間に1回以上公開できたか。 ②調査結果の分析結果や学力向上カウンセリング研修を踏まえ、授業改善につながる手立てが立てられたか。					
2	〈現況〉 ○学校評価児童アンケートにおいて「学校に来るのが楽しい」の肯定的な回答をした児童が85.8%であった。 〈課題〉 ○「心と生活のアンケート」の結果から各学級に様々な不安を抱えている児童がいることが分かる。日頃から子ども達の様子に目を配るとともに、変化には迅速に対応することが必要である。	・望ましい人間関係を基盤とした学級経営 ・児童一人ひとりへの細やかな教育相談体制の整備	①学級経営においては、温かな雰囲気やベースとし、一人ひとりが活躍できる居場所作りを行う。 ②SoLa る一むやオンラインによる学習など、児童の状況に応じた効果的な学びの場を設定する。	①学校評価児童アンケートにおいて「学校に来るのが楽しい」の肯定的な回答をする児童が85.8%を越えたか。 ②SoLa る一むの運用体制を確立し、状況に応じた多様な学びの場を設定することができたか。					
3	〈現況〉 ○学校運営協議会では目指す児童の姿について熟議を積み重ね、協働し、児童の健全育成に取り組んでいる。 〈課題〉 ○本校の課題を、保護者・地域で多くの方々と共に共有して、協働することに課題がある。	・地域や保護者と連携した学習活動の推進 ・「ふるさと見沼」を意識した学習活動の推進	①HP のブログで、普段の教育活動や学校運営協議会の様子を公開し、情報を共有する。 ②地域行事に積極的に参加し、家庭・地域と顔の見える関係を構築する。	①②学校評価における「学校は、子どもの様子を各種おたより、Web ページに掲載したり、定期的に学校公開をしたりしている」「学校は、教員と保護者や地域が協力し、教育活動を行っている」の肯定的回答の85%以上を維持できたか。					
4	〈現況〉 ○子ども達が落ち着いて学習に取り組めるよう、安全安心な教室の環境を整えるよう努めている。 〈課題〉 ○教職員による施設、設備の安全点検を引き続き行うとともに、児童にも安全な生活が送れるように定期的に注意喚起を促す。 ○校地内には、修繕が必要な個所が複数ある。	・安全な生活が送れるようになるための教職員による安全点検と児童へ注意喚起 ・清潔で安全な環境を作るため、修繕や工夫の実施	①毎月の安全点検を全職員で行い、不具合には迅速に対応する。 ②交通事故、火災自然災害、不審者対応、不慮の事故など安全に関わる学習を計画的に進め意識を高めさせる。 ③生徒指導部の活動を中心に季節に応じた安全意識の向上を図る。	①毎月の安全点検を確実にこなしたか。不具合に迅速に対応できたか。 ②交通事故、火災自然災害、不審者対応、不慮の事故など学校安全に関わる学習や訓練を行ったか。 ③学校評価児童アンケートにおいて関連項目に肯定的な回答をする児童が95%を越えたか。					
5	〈現況〉 ○市の勤務に関する意識調査において、「職場の協力体制が整っている」の項目が市平均の水準より上回っている。 〈課題〉 ○国・本市の教育施策や教育的課題に本校教職員も正対し、教育界の「不易と流行」に対応できるよう、引き続き教育公務員としての資質・能力を高めていかなければならない。	・資質向上に向けた教職員研修の充実 ・働き方改革を見据えた業務改善と業務量管理	①学校課題研修やミニ研修などを通して、教職員の資質向上を図る。 ②全ての教員が目指す児童像を共通理解し、その具現化に向けた授業を年間1回以上公開する。	①研修において、教職員が主体的に学ぶことができたか。 ②全ての教員が年間1回以上授業を公開することができたか。					
			①ワークライフバランスを意識した働き方をする。 ②働き方改革につながる提案を運営委員会などで検討する。	①ワークライフバランスデーを毎週1日実施できたか。 ②提案された改善案を共有し、実践することができたか。					

学校運営協議会からの意見・要望・評価等